

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【国際公開番号】W02017/146253

【年通号数】公開・登録公報2018-049

【出願番号】特願2018-501823(P2018-501823)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/573 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

C 1 2 N 9/12 (2006.01)

C 1 2 Q 1/48 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/53 Z N A D

G 0 1 N 33/573 A

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/15 Z

C 1 2 N 9/12

C 1 2 Q 1/48 Z

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 16/18

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月15日(2019.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

H P 1 α 及び／又は H P 1 γ のリン酸化を指標として A u r o r a B 活性を判定することを特徴とする染色体不安定性評価方法。

【請求項 2】

請求項 1 記載の染色体不安定性評価方法であって、
前記 H P 1 α 及び／又は H P 1 γ のリン酸化は、
ヒト H P 1 α の 9 2 番目のセリンのリン酸化及び／又はヒト H P 1 γ の 8 3 番目のセリンのリン酸化であることを特徴とする評価方法。

【請求項 3】

請求項 2 記載の染色体不安定性評価方法であって、
前記 ヒト H P 1 α の 9 2 番目のセリンのリン酸化及び／又はヒト H P 1 γ の 8 3 番目のセリンのリン酸化は、抗体によって検出するものであることを特徴とする評価方法。

【請求項 4】

染色体不安定性を評価して抗癌剤をスクリーニングする方法であって、
H P 1 と I N C E N P の相互作用又は結合の変動を指標とし、
染色体不安定性が増す化合物を選択することを特徴とするスクリーニング方法。

【請求項 5】

請求項 4 記載の抗癌剤のスクリーニング方法であって、

H P 1 と I N C E N P の相互作用又は結合の変動を指標として化合物を選択する第一工程と、

選択した化合物を細胞分裂時の染色体分配の正確度をイメージングで計測する第二工程とを有することを特徴とするスクリーニング方法。

【請求項 6】

請求項 4 又は 5 記載の抗癌剤のスクリーニング方法であって、

前記 H P 1 と I N C E N P の結合の変動の指標が

ヒトH P 1 α の 9 2 番目のセリンのリン酸化及び／又はヒトH P 1 γ の 8 3 番目のセリンのリン酸化であることを特徴とするスクリーニング方法。

【請求項 7】

請求項 6 記載の抗癌剤のスクリーニング方法であって、

前記ヒトH P 1 α の 9 2 番目のセリンのリン酸化及び／又はヒトH P 1 γ の 8 3 番目のセリンのリン酸化は、抗体によって検出するものであることを特徴とするスクリーニング方法。

【請求項 8】

請求項 4 記載の抗癌剤のスクリーニング方法であって、

前記結合の変動がイン・ビトロ解析による H P 1 と 1 2 1 位～2 7 0 位の配列を含む I N C E N P との結合の変動であることを特徴とするスクリーニング方法。

【請求項 9】

請求項 8 記載の抗癌剤のスクリーニング方法であって、

H P 1 と I N C E N P の前記結合の変動をバインディングアッセイ又はアルファアッセイにより解析することを特徴とするスクリーニング方法。

【請求項 10】

ヒトH P 1 α の 9 2 番目のセリンのリン酸化を特異的に認識する抗体、又はその機能的断片。

【請求項 11】

H P 1 α 及び／又はH P 1 γ のリン酸化を検出することにより、

A u r o r a B 活性及び／又は染色体不安定性を判定することを特徴とするヒトH P 1 α の 9 2 番目のセリン及び／又はヒトH P 1 γ の 8 3 番目のセリンのリン酸化を特異的に認識する抗体の利用方法。

【請求項 12】

前記H P 1 α 及び／又はH P 1 γ のリン酸化の検出が、

イムノプロット法、免疫沈降法、免疫染色法の少なくともいずれか 1 つによるものであることを特徴とする請求項 11 記載の利用方法。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	JPWO2017146253A5	公开(公告)日	2019-04-25
申请号	JP2018501823	申请日	2017-02-27
申请(专利权)人(译)	癌症研究基金会会议		
当前申请(专利权)人(译)	癌症研究基金会会议		
[标]发明人	広田 亨 阿部 優介		
发明人	広田 亨 阿部 優介		
IPC分类号	G01N33/53 G01N33/573 G01N33/50 G01N33/15 C12N9/12 C12Q1/48 C07K14/47 C07K16/18		
FI分类号	G01N33/53.ZNA.D G01N33/573.A G01N33/50.Z G01N33/15.Z C12N9/12 C12Q1/48.Z C07K14/47 C07K16/18		
F-TERM分类号	2G045/AA40 2G045/DA20 2G045/FB03 4B050/CC07 4B050/DD11 4B050/LL03 4B063/QA01 4B063/QA19 4B063/QQ02 4B063/QQ27 4B063/QR07 4B063/QS33 4H045/AA11 4H045/AA30 4H045/CA40 4H045/DA76 4H045/EA50 4H045/FA74		
代理人(译)	白形 由美子		
优先权	2016035505 2016-02-26 JP		
其他公开文献	JPWO2017146253A1 JP6591036B2		

摘要(译)

我们发现HP1和INCENP之间的相互作用可能是染色体不稳定性指标，并建立了评估癌细胞染色体不稳定性方法。该评估系统可用于筛选可靶向癌细胞染色体不稳定的抗癌药新概念。此外，制备了特异性识别HP1α92丝氨酸磷酸化的抗体，在该抗体上可以评估Aurora B的作用。HP1和INCENP之间相互作用的结果可以通过抗体轻松评估。